

うちなだ 議会だより

祭りだワッショイ!
秋の夜

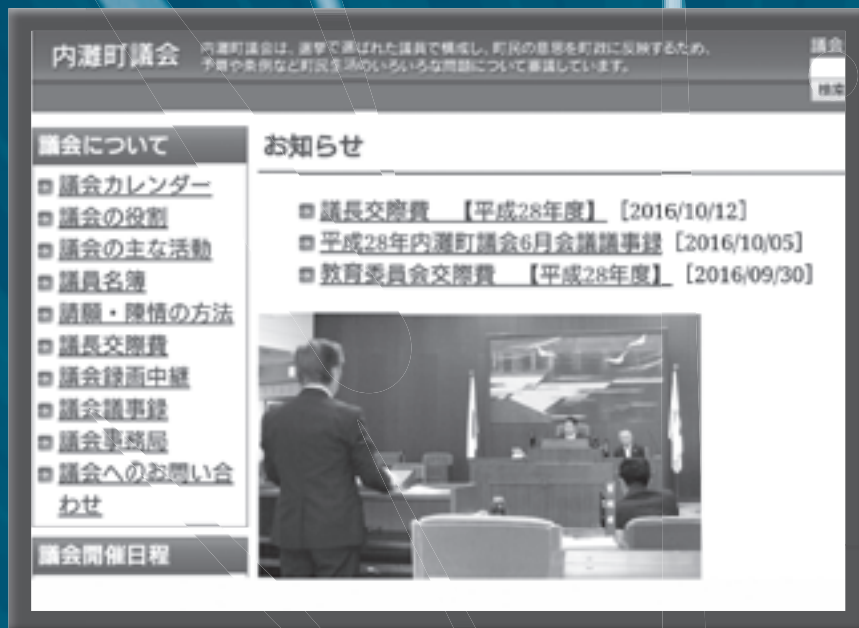
Vol.127

平成28年(2016)

11月4日発行

石川県内灘町議会





情報発信の強化へ！



行財政の「見える化」を図る

内灘町議会



— 目次 —

9月会議

4 支え合うまち 活きるまち

6 自主財源の確保を！

平成27年度決算

8 請願と意見書の審査

9 賛否の分かれた議案一覧

7月会議

10 視察レポート 議会運営委員会

11 一般質問 8人が登壇

20 委員会レポート

21 ありゃーどうなったがいねー

22 街がどインタビュー

鶴ヶ丘 片岡登志雄さん



奴行列

表紙のいざば

「祭りだワッショイ！」

秋の夜

10月1～3日に行なわれた菅原神社
(向栗崎)の秋季祭礼。
御神輿の宮上がり。

活きるまち

9月会議
5日～21日

あらゆる世代への支援充実へ



リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業
26万円

石川県リハビリテーションセンターと連携し、講演会・視察・勉強会・福祉用具の啓発事業を実施。

地域支援事業費（介護保険事業）
27万円

金沢医科大学病院に「認知症初期集中支援チーム」を設置。

高齢者スポーツ大会



大会出場補助金

82万円

全国中学校体育大会、北陸吹奏楽コンクール参加にかかる旅費等。

小学校施設設備改修工事

324万円

鶴ヶ丘小学校の放送設備入替工事。

内灘中学校男子ソフトテニス部

平成28年内灘町議会9月会議が開催され、補正予算のほか、条例、指定管理者の指定、人事案件など計9議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

補正予算

（全員賛成）

1億5028万5千円を追加し、予算総額は179億5585万円に

平成28年度各会計の予算総額に1億5028万5千円を追加し、全会計の予算総額は179億5585万円となりました。

条例の改正

（全員賛成）

屋内多目的広場が12月1日供用開始

屋内多目的広場の使用料金等について体育施設条例に追加。
二重課税防止

日本と台湾との間で一般的な租税条約に相当する取決めが結ばれたことに伴い、税条例を改正。

課税の特例

町民税で分離課税されることとなった特例適用配当等の額を、国民健康保険税の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるため、国民健康保険税条例を改正。

支え合つまち



多子世帯学童保育料助成金
46万円
多子世帯の第3子以降の児童が学童保育クラブを利用した場合、その学童保育料を助成。

多子世帯保育料軽減事業補助金
154万円
国の低所得世帯に対する保育料減免施策において半額となった第2子保育料を県と町で2分の1ずつ負担し、保育料を無料化。

鶴が丘保育園運動会

その他の主な事業

番組製作委託料	350万円
平成28年9月1日から放送開始した、金沢ケーブルテレビネット「うちなだチャンネル」の自主番組を製作。	
新地方公会計システム整備委託料	800万円
公会計管理台帳システムを導入し、統一的な基準による財務書類の作成・公表を平成29年度末までに実施。	
公的病院等運営費補助金	1億円
救急医療の確保及び地域医療の充実を図るため、金沢医科大学病院に対し運営費を助成。 (負担割合 国 8000万円、町 2000万円)	
予防接種委託料	130万円
平成28年10月からB型肝炎ワクチンが定期接種化。接種対象者は平成28年4月以降に生まれた者。	
管理用備品購入費(推進隊)	20万円
防犯と交通安全推進隊の隊旗を作成。	
ふるさと寄附金報償金	300万円
内灘町に「ふるさと応援寄附金」を納めて頂いた方へ地元特産品等を贈呈。寄附件数の増加。	

定住促進奨励金	96万円
新婚夫婦が民間賃貸住宅に入居した場合、12ヶ月間、家賃の一部を助成。申請件数の増加。	
創業支援事業補助金	365万円
地域商業の活性化及び空き店舗等の解消を図るため、空き店舗等を利用した創業者に対し、創業にかかる経費及び家賃を補助。申請件数の増加。	
街路樹管理委託料	150万円
街路樹の剪定費用。	
道路施設等管理委託料	150万円
道路の除草及び側溝清掃等費用。	
体育施設管理委託料	47万円
平成28年12月から供用開始予定の屋内多目的広場の指定管理委託料(12月から3月までの4ヶ月分)。	
体育備品購入費	80万円
屋内多目的広場の各種体育備品(ベンチ・支柱・ネット・タイマー等)、その他備品(運搬用コンテナカー・救急セット・カラーコーン等)購入。	

満員御礼

9月会議には、たくさんの方々の
傍聴がありました。
誠にありがとうございました。



任期は平成28年10月1日から
平成31年9月30日まで。



やまだ しんいち
山田 眞一氏
(新任 鶴ヶ丘)

教育委員会委員

(全員賛成)

人事案件

指定期間は平成28年12月1日
から平成30年3月31日まで。

屋内多目的広場の指定管理者
に一般財団法人内灘町公共施
設管理公社を指定

(全員賛成)

指定管理

確保を!

特別会計決算

会計名	収入額	支出額
公共下水道事業	13億9127万円	13億8794万円
新エネルギー事業	9152万円	9152万円
国民健康保険	32億9699万円	34億9746万円
後期高齢者医療	2億2936万円	2億2906万円
介護保険	17億2827万円	17億2417万円

水道事業会計決算

区分	収入額	支出額
収益的収入及び支出	6億7642万円	5億6575万円
資本的収入及び支出	7040万円	1億4646万円

特別会計の借金と貯金

会計名	借金（町債）	貯金(基金)
特別会計合計	91億5770万円	3302万円
公共下水道事業	90億8540万円	0
新エネルギー事業	5950万円	0
国民健康保険	1280万円	0
介護保険	0	3302万円

すべての収入に占める自主財源の割合は、35.8%と固定資産税が減少傾向にあるなか、決算特別委員会では、町税をはじめとする自主財源の確保が不可欠であると指摘・要望しました。

どうなった？

昨年度の指摘・要望事項

- 町の農林水産業を応援すべき
→JA石川かほくと町漁業組合との合同イベント「とれたて祭」を、糖尿病フェアと同時開催した。
- 内灘海水浴場の浜茶屋に対し、健全運営を指導すべき
→津幡警察署と連携し、現地パトロールを行ない指導した。
- 行事やイベントは、趣向を凝らして取り組むべき
→はまなす歌謡祭の出演者選定、花火大会の内容充実に努めた。
- 健康推進事業をもっと周知すべき
→人間ドック助成事業やヘルスアップ事業・特定健診の受診を町広報、ホームページで周知を図り、関係部署と連携している。
- コミュニティバスを拡充すべき
→現在、増車を含めたルートの見直しを進めている。

今年度の

指摘・要望事項

- ①自主財源の確保と安定化を図るべき。
- ②中国呉江市との交流は新たな方向性を検討すべき。
- ③小規模多機能型居宅介護事業所の早期再開を働きかけるべき。
- ④水産資源を守り育てブランド化を検討すべき。
- ⑤町の主なイベントは民間活用を図るべき。
- ⑥道の駅周辺の整備、保全を図るべき。
- ⑦宿泊施設の誘致は、最重点課題として取り組むべき。
- ⑧教育センター相談事業の充実を図るべき。
- ⑨中学校備品の充実を図るべき。
- ⑩公民館の耐震改修を急ぐべき。

決算特別委員会

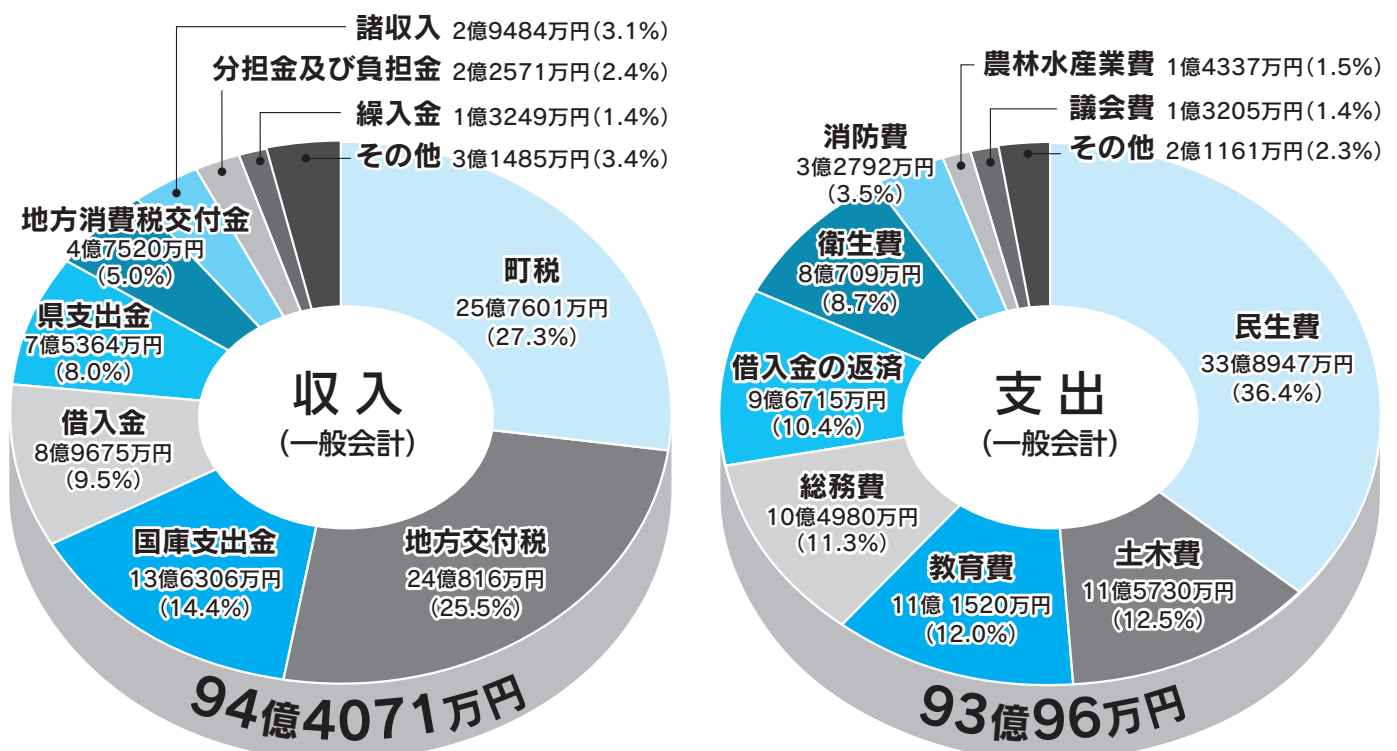


太田臣宣 磯貝幸博
清水文雄 ◎恩道正博 ○藤井良信 北川悦子
(◎…委員長、○…副委員長)

27年度 決算 自主財源の

平成 27 年度一般会計、各特別会計の歳入歳出決算認定と水道事業会計の剰余金の処分については、決算特別委員会を設置し、集中審査の結果、すべて原案のとおり認定しました。

一般会計 93 億円はどう使われたのか



町民 1 人あたりの費用 (一般会計)

34万5799円
(前年度38万3930円)

このように使われました



一般会計の借金と貯金

借金 (町債)	貯金 (基金)
100億 379万円 (前年度 99億6070万円)	16億2149万円 (前年度 15億3607万円)

町民一人あたりの借金
37万1930円
(一般会計)
前年度 37万135円

町民一人あたりの貯金
6万 285円
(一般会計)
前年度 5万7080円

平成28年3月末人口26897人 (前年度より14人減)

意見書の 審査と願の請



請願

不採択

国の教育予算の拡充を求める請願

(原案に賛成2人 反対10人)

◎請願者

石川県教職員組合河北支部

執行委員長

◎紹介議員

政近 顕純
清水 文雄

要旨

計画的な教職員の定数改善を推進し、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、来年度予算編成で義務教育費の拡充を望む。

文教福祉常任委員会の意見

2年前に同じような請願が出された際、内灘町の実情に即したものを提出すべきとのことから、町議会独自の意見書を国の関係機関に送付しており、その時との整合性を図るため今回も同様とする。

原案に賛成

清水 文雄

教育現場の声を反映したもので、主体的な取り組みを引き出す教育の役割の重要性からも採択すべき。

採択

チーム学校推進法の早期制定を求める意見書の提出を求める請願

(賛成10人 反対2人)

◎請願者

公明党内灘支部

◎紹介議員

塚田 勝則
藤井 良信

要旨

教職員体制の整備充実を図るとともに、専門の職員やスタッフが学校運営や教育活動に参画する「チーム学校」の実現を図るためチーム学校推進法の早期成立を望む。

採択

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書の提出を求める請願

(賛成11人 反対1人)

◎請願者

公明党内灘支部

◎紹介議員

塚田 勝則
藤井 良信

要旨

学ぶ意欲のある若者が経済的理由で進学を断念することがないよう、奨学金や授業料免除などの支援を拡充するとともに、来年度を目途に給付型奨学金の創設を望む。

「請願」とは

国民に認められた憲法上の権利の一つで、国または地方公共団体に對して、意見や希望を述べること。請願書の提出には、議員の紹介が必要で、受理されると定例会議で審議され、本会議の採択をもって

意見書となる。採択された意見書は、さらに委員会審議と本会議での採択をもって最終的に国会、各省庁へ意見書として提出される。



意見書

可決

よりよい教育環境の拡充を求める意見書

(賛成11人 反対1人)

反対

清水 文雄

町独自の意見書としながら請願第10号に全てその内容が包含されている。請願の採択で足りるはずだ。

VS

賛成

太田 臣宣

町の実情に沿った意見書を提出し、国に対して働きかけ、要望していくのが議会の務めである。



ミツバちゃん

可決

チーム学校推進法の早期制定を求める意見書

(賛成10人 反対2人)

可決

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

(賛成11人 反対1人)

可決

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

(賛成11人 反対1人)

反対

北川 悦子

厚生年金への加入となると事業主である自治体負担が半分となる。税金負担つまり国民負担となるため国民の同意を得るのは難しい。



審議結果一覧

9月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議案	氏名	米田 一番	磯貝 幸博	七田 満男	太田 臣宣	生田 勇人	川口 正己	藤井 良信	恩道 正博	北川 悦子	栗藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
請願第10号 国の教育予算を拡充することについて		×	×	×	×	—	×	×	×	○	×	○	×	×
請願第11号 チーム学校推進法の早期制定を求める意見書の提出を求める請願書		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
請願第12号 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書の提出を求める請願書		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	○	○
議会議案第2号 よりよい教育環境の拡充を求める意見書の提出について		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	○	○
議会議案第3号 チーム学校推進法の早期制定を求める意見書の提出について		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議会議案第4号 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書の提出について		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	×	○	○
議会議案第5号 地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について		○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、—議長は採決に参加しません。

7月会議 7月29日

一般会計補正予算

(全員賛成)

請負契約の締結

(全員賛成)

元気内灘住宅リフォーム助成制度が復活

平成26、27年度の二か年にわたり実施された住宅リフォーム助成事業が、その経済効果や事業の実施を求める要望を踏まえ継続されることとなり、事業費一千万円を新たに計上。

条例改正

向栗崎学童保育クラブが校舎内に移転 (全員賛成)

向栗崎体育館の一階に設置されていた向栗崎学童保育クラブが、空き教室を活用し向栗崎小学校内に新設されたことに伴い、学童保育クラブの位置に関する規定を改正。

白帆台小学校建設工事

校舎建築本体工事

契約金額 12億7224万円
兼六建設株式会社

校舎電気設備工事

契約金額 2億1481万2千円
株式会社柿本商会

校舎機械設備工事

契約金額 1億7680万6800円
菱機工業株式会社金沢支店

屋内運動場建築本体工事

契約金額 2億6460万円
北川ヒューテック株式会社

福祉センター整備工事

建築工事

契約金額 3億3480万円
株式会社豊蔵組

機械設備工事

契約金額 1億1518万2千円
株式会社津幡工業

視察レポート 議会運営委員会

【日程】10月5～7日 【視察先】たかさご はりまちよう兵庫県高砂市・播磨町

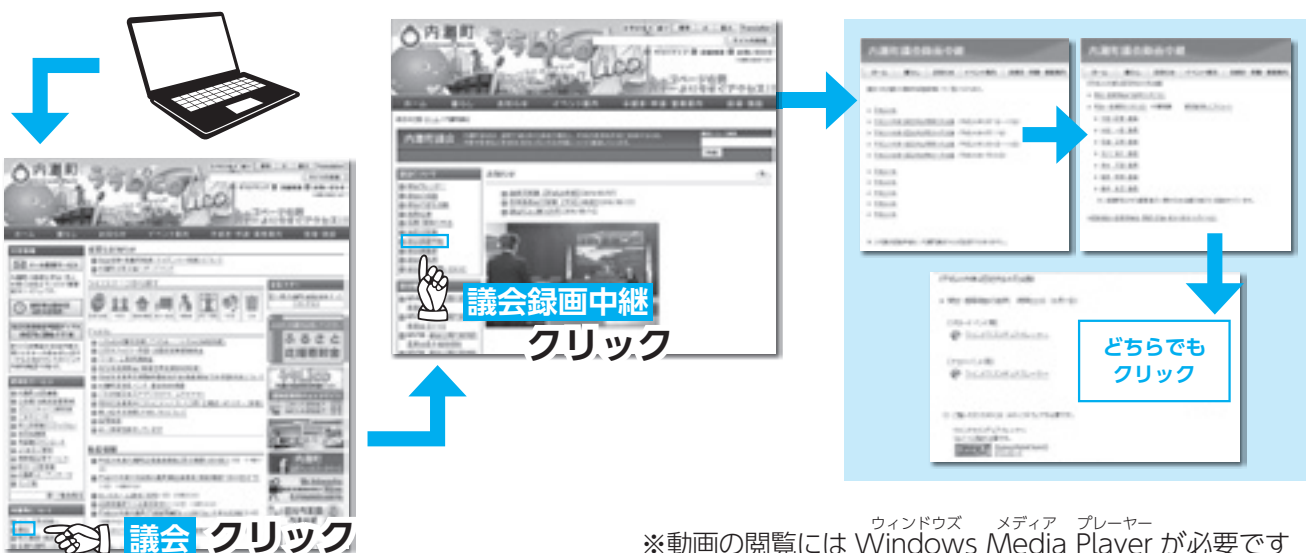
高砂市のコミュニケーションバスは、当初3台で始めたものを市民の要望も勘案され、15年後の現在では5台で運行されています。またICカード機器を導入して、更に利便性を向上させています。

播磨町議会では、連合審査会等を設置して行政へのチェック機能の強化を図っています。また「議会と語ろう会」を定期的に開催し、市民に開かれた議会を目指しています。



播磨町議会藤原議長のごあいさつ

議会録画をご覧ください ●町ホームページで、インターネット配信されています。



市政も問う

8人が登壇

一般質問（9月7日）

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

藤井 良信…………… 12

- ・町の観光施策推進について
- ・「チーム学校推進法」の認識を示せ

七田 満男…………… 13

- ・防犯カメラ設置に補助金交付制度を創設せよ
- ・街路樹の適正管理について

中川 達…………… 14

- ・川口町長の二期目に向けた決意を聞く
- ・河北潟地区国営事業計画の概要について聞く

米田 一香…………… 15

- ・自分のため・家族のため・地域のための介護予防
- ・レジリエンス教育で明るく元気な町づくり

ほか1問

清水 文雄…………… 16

- ・内灘海水浴場の管理について
- ・非正規職員の正規職員化など処遇改善について

恩道 正博…………… 17

- ・宿泊施設の誘致について
- ・防災対策について

北川 悦子…………… 18

- ・高齢になっても安心して住み続けられる町に
- ・子育て支援策の充実を

磯貝 幸博…………… 19

- ・県の新たな子育て支援策への町の対応は
- ・財政の健全化に向け経費の削減を急げ



内灘海岸の周辺整備を示せ

観光ビジョンを作成中 町長



藤井 良信

【答】 現在、にぎわいを創出するための観光ビジョンを作成中で、駐車場やトイレ、シャワー室を備えた休憩施設に加え、海岸管理用の道路などが整備できないか検討をしている。

【問】 2020年（東京五輪）を見据えて、町の観光施策としての内灘海岸周辺整備は、どのように考えているか。

【答】 内灘町は、のと里山海道の起点でもあることから、今後前向きに検討していきたい。

【問】 インバウンド※誘致を目的とする新たな広域観光周遊ルートを考え、河北潟周辺の自然体験ツアーや歴史・伝統・食文化など、観光ツアープログラムのための「広域周遊プロジェクト協議会」が立ち上げられないか。



インバウンドもこれで OK!!



騎馬戦はチームプレイ

チーム学校

【問】 文部科学省では「チーム学校」の実現が審議され、国会ではチーム学校推進法の成立が待たれている。「チーム学校」の町の見解を示せ。

【答】 これまでは、主に教職員のみで行なっていた学校運営体制に、専門的スタッフを配置させることで、教員が教育活動に専念できる体制を目指すものと認識している。

【問】 「チーム学校」の制度導入は、町の学校教育現場での実情からは、どのように評価できるか。

【答】 この制度ではスクールソーシャルワーカー※など、スタッフの配置が増強され、多忙といわれる教員の負担が軽減されることから、より質の高い教育や子どもたちの健全な育成に資するものと考えている。

※インバウンド

外国人旅行者を自国へ誘致すること。日本では、海外から日本へ来る観光客を指すことが多い。

※スクールソーシャルワーカー

子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家。



七田 満男

防犯カメラ設置に補助金制度を 調査研究したい 町長



365 日稼動中

問 防犯カメラ設置を積極的に進めよ。また、今年度の設置計画を示せ。

答 平成28年度は鶴ヶ丘中央公園及び文化会館前の地下道出入り口の2カ所にカメラを設置し、8月より運用を開始した。今後も、津幡警察署、町会と協議し、通学路など設置効果の高い場所への増設を計画的に進めたいと考えている。

問 犯罪抑止と地域防犯力向上を目的に、防犯カメラを設置する地域団体や個人に対して、設置費の一部を補助する補助金交付制度を創設し、防犯カメラ設置促進を図れ。

答 県内市町では地域団体等への助成制度はあるが個人に対しての助成は確認されていない。補助金制度創設は先進自治体の状況を調査研究する。

街路樹管理

問 街路樹の枝葉が大きくなり過ぎて、交通信号や標識が見えにくい、枝が家の敷地内にかかっているなどの苦情がある。町の街路樹に対する認識と管理方針を示せ。

答 道路と同様に、年次計画に基づき適正管理に努めている。樹形を保つよう、また通行車両や歩行者の支障とならないよう剪定を実施している。



標識が見えない

問 交差点から一定区間街路樹が無ければ視認性が高まり、交通事故の防止につながると思うが、町の見解を示せ。

答 交差点付近の街路樹はガードレールと同様、歩行者や信号待ちをしている人の安全施設としての効果がある。ドライバーや歩行者からの視認性が確保できるよう適切な管理に努めている。



おししさん

町長の二期目へ決意を問う

全身全霊を傾注していく

町長



中川 達

【答】 乳児及び児童医療費助成を拡大、白帆台小学校建設に着手、地区公民館の耐震改修、地域防災センター整備に着手、屋外サッカー場整備、屋内多目的広場整備、温浴施

【問】 川口町長の力強いリーダーシップのもと、積極的な町政運営と着実な歩みが進められている。これまでの成果と二期目への決意を問う。

設建設に着手、合葬式墓所の建設、消防ポンプ自動車を更新、消雪施設を順次整備、プレミアム商品券事業の実施、ミルク王国ウチナダを創設、北部開発ビジョン策定、そしてスピード感ある組織への改編など、公約として掲げていた全ての政策に着手ができた。

町のさらなる発展のために、今後も全身全霊を傾注していく覚悟だ。



防災の地域拠点

河北潟地区国営事業

【問】 国が進める河北潟地区国営事業計画では、平成27年度より農業揚水機の修理など更新事業を行なっている。事業内容など町はどのように認識しているか。

【答】 河北潟国営施設応急対策事業では東部第1・第2・西部・南部の4つの揚水機場のポンプ及び電気設備の改修で、工期は平成32年までの6年間。

【問】 国営総合農地防災事業では河北潟周辺地区調査が実施されている。事業予算と今後の予定は。

【答】 この国営事業は河北潟干拓地及び周辺地区の農地・宅地などの湛水被害対策を図るため、防潮水門や排水機場などの整備計画で事業費は300億円と想定される。平成31年度に着工を目指す予定。



計画の認識を示せ（内灘排水機場）



モーさん



米田 一香

住民主体の介護予防活動へ助成を

支援策を前向きに検討する 町民福祉部 担当部長



老いも若きもスカットボール

問 認知症簡易チェックシステム※の運用状況は。

答 平成28年8月末の利用状況は延べ5745件。

問 介護予防に地域住民が主体的に取り組むことは重要だ。これまでの町の支援状況を示せ。

答 地域包括支援センターが出前講座などを通じて側面からサポートしている。

る。また、町民にも介護予防の必要性の周知啓発に努めている。

問 介護予防につながる地域活動に取り組む組織への助成を検討せよ。

答 住民主体の介護予防活動は効果的で有意義である。今後、介護予防活動に自主的に取り組む団体への支援策を前向きに検討する。

レジリエンス教育

問 予測できない困難な状況に直面しても、うまく対応・回復できるように町民のレジリエンス※を日頃から高めておく教育が大切だ。ストレスと上手につき合い、心の健康を守ることもつながる。学校教育や生涯学習でのポジティブで柔軟な思考を鍛えるトレーニングを含め、町独自のレジリエンス教育プログラムを計画せよ。



強くしなやかに（向粟崎小学校）

答 町の地域防災計画には災害時、被災者の心のケアに取り組む体制を定めている。

また、心身共に健康な住民を増やすことは明るく元気なまちづくりを進める上で重要だ。

日頃から、ストレスに打ち勝つ力や上手に適應する方法を学ぶ、レジリエンス教育も大切と考えている。町独自の教育プログラム導入を研究する。

※認知症簡易チェックシステム

いくつかの質問に答えると認知症の疑いをチェックできるシステム。パソコンや携帯電話を使い、町ホームページから利用できる。平成28年4月に県内で初めて導入した。

※レジリエンス

ストレスを跳ね返す力や、ストレスによってできたゆがみを元に戻す力。

その他の質問

問 バス車内やバス停へWi-Fi整備を。

答 先進事例を調査研究し整備に向け検討する。

県へ海岸条例制定を申し入れよ

条例制定含め協議

都市整備部担当部長



清水 文雄

答 営業時間の遵守等について何度も指導したが、今年も深夜まで海の家の営業が行なわれ、施設の設置者である内灘海岸海の家管理組合には、現状の施設を適正に管理運営する意思と能力がないものと認識している。

問 町は、今年の内灘海水浴場浜茶屋の実態と問題をどのように把握・認識しているか。

答 内灘海水浴場は明るく健全に運営されるべきであり、内灘海岸の管理者である県と安全・安心な利用方法について、条例制定等も含め引き続き協議をしていく。

問 海の家の営業時間や花火の時間の制限など、海水浴場管理のルールや罰則規定を盛り込んだ条例の制定を県へ強く申し入れせよ。



浜茶屋のゆくえ

職員の処遇改善

問 平成24年の町非正規職員比率は県内で一番高く、正規職員比率は48・2%となっていたが、現状を聞く。

答 平成28年4月1日現在の正規職員比率は50・13%と改善されている。

問 非正規職員の正規職員化を図り、正規と非正規の賃金などの労働条件の格差を縮小すべきだ。

答 嘱託職員の処遇は国の非常勤職員の勤務時間及び休暇等に関する規則を準用している。国の動向を注視しながら勤務環境の整備を図る。

嘱託職員の正規職員化は、正規職員の採用試験を受けてほしい。町の嘱託職員の賃金は、県内ではトップクラスで年収約200万円ほどだ。財政状況を見きわめ適正な定員管理に努めたい。



運動会がんばるぞ！（北部保育所）



ウチナダー3



恩道 正博

宿泊施設の誘致を進めよ

積極的に取り組む 町長



総合公園一帯

問 総合公園内のスポーツ会場を利用する来訪者や観光客のためには宿泊施設が必要だ。

また町民や各種団体が会議などでも利用でき、にぎわいを創出することができる。

町の活性化および町民福祉の向上につながることはもちろん、町の将来展望になくはならない宿泊施設の誘致について町の考えを示せ。

答 町内に観光客を呼び込み、地域の活性化を図る上で宿泊施設の必要性は十分認識している。

現在、観光振興による交流人口の拡大を目指している。宿泊施設の誘致は町の地方創生にとって重要な役割を担うものであり、今後も引き続き事業者の情報収集に努めるとともに、情報提供にも力を注ぎ、積極的に取り組んでいく。

防災対策

問 一般住宅の耐震化率の推移及び耐震改修工事の補助金交付件数とその金額を示せ。

答 耐震化率は、平成18年度末で73%、平成28年1月時点で約75%と微増。補助金交付件数は、耐震診断2件で18万円、改修工事2件で100万円。

問 住宅の耐震化が進まない要因は。

答 新庁舎で業務を開始した平成27年度の救急講習会の受講者は247名で前年度の3倍に増加した。防災講習会等に291名、庁舎見学に813名が参加した。

問 新消防庁舎での講習会の開催状況は。

答 費用面や住宅の老朽化で建替え時期が来ていること等が要因と考える。



まさかに備えた救急講習会



大橋兄弟

制度改革への取り組みは

サービスの多様化を検討

町民福祉部
担当部長



北川 悦子

問 団塊の世代が75歳以上を迎える平成37年に向け、これまでの介護保険サービスの枠組みにとらわれず、地域の実情に応

答 国は要介護1・2の人への生活援助、福祉用具貸与、住宅改修を原則自己負担に、また利用料を所得に係らず2割負担にするなどの制度改革を目指すとしている。町の取り組みを問う。

問 事業所と連携しながら再開に向け力強く支援していく。

答 白帆台の小規模多機能型居宅介護※施設「汐音うちなだ」が、サービス中止になっている。

じた多様なサービスを構築できるよう検討する。今後、介護給付費や医療費などに対する財政負担の観点から議論も必要。



ケアハウス白帆台に併設する汐音うちなだ



元気いっぱいお散歩中（内灘はまなす保育園）

子育て支援

問 子どもの医療費助成は就学前は無料、18歳までは500円で病院へ行くようになる8カ月が過ぎた。償還払い※のときと比較して町負担分はいくら増額となったか。

答 1月～6月診療分の月平均支出額は約600万円。制度導入前は500万円。月100万円増えた。年間約1200万円の増額となる。

問 さらに自己負担額を18歳まで無料とした場合、いくら必要となるか。

答 月平均約90万円が必要。年間では1000万円を超える。

問 県内自己負担なしは今年中に償還払いも含めると14市町。無料にせよ。

答 国、県の負担がなければ難しい。

※小規模多機能型居宅介護

通所介護（デイサービス）を中心に、必要に応じてショートステイや訪問介護を組み合わせて提供する介護サービス。

※償還払い

自己負担額を医療機関にいったん支払い、その後、申請を行ない町から償還（払い戻し）を受けること。



磯貝 幸博

子育て支援策への対応は

さらなる支援策に取り組む 町長



親子のふれあい（子育て支援センター）

問 町独自に所得制限をなくして保育料を無償化するのか、別の取り組みでサービス充実を図るのか、県の新たな子育て支援策への対応を問う。

答 県は年収360万円未満の世帯で、第1子の年齢を問わず第2子以降の保育料が無料となる子育て支援策を示した。町独自に所得制限をなくして保育料無償化を進

めることは財政状況を考慮すると難しい。平成28年度は北部保育所でゼロ歳児保育を、子育て支援センターで一時保育を開始し多様なニーズに対応した。**特別保育事業**※は県内最高の充実度と考える。また親育ち講座なども開設し、相談体制を強化しサービス充実を図った。さらなる子育て支援策に取り組む。

経費削減

問 少子高齢化による税収の減少で、今後の財政悪化を懸念する。

答 電気・ゴミ・下水汚泥処理の経費削減策を示せ。

問 電気は料金面の安さだけでなく、安定供給面、災害時の対応面など検討課題もある。

答 家庭ゴミは徹底した分別、回収機会の多様化で減量化を図る。特に生ゴミは堆肥化や処理機の購



ギュギュとひと絞り

入費助成、ひと絞り運動、食品ロスの低減など周知を一層進める。下水汚泥は脱水機の更新等で減量化を図り費用削減に努めている。

問 マイナス金利政策※への対応を示せ。

答 地方債借入の利率低下で金利負担が軽減した。今後も市場の動向を注視していく。

※特別保育事業

休日保育、延長保育や夜間保育、病児・病後児保育、育児相談等を実施する子育て支援拠点事業など、就労と育児の両立を支援する事業。

※マイナス金利政策

日本銀行が民間金融機関からの預金の金利をマイナスにする金融政策。預金を企業や個人へ貸し出し、経済の活性化につなげる。

内灘海水浴場

浜茶屋の健全運営を求める

総務産業
建設常任
委員会



内灘海水浴場の浜茶屋が18時以降の許可外の「夜間営業」を行なっており、町からは、県や津幡警察署などと共に複数回パトロールを実施したところや、県から文書で3回、口頭で10回の計13回行政指導を実施したことの報告があった。委員から来年度以降の許可についてなど、今後も県に対し適切な海岸管理を求めることを強く要望した。

その他の質疑・意見

問 金沢ケーブルテレビ

番組制作委託料350万円の内訳は。

答 委託料350万円は

30分番組6本分の番組制作費。来年度以降も新たな番組制作をする場合には費用が必要。

問 ケーブルテレビでの

議会中継は。

答 12月会議から実施を予定している。

問 ケーブルテレビの加

入率が低い。

答 普及率を高めるため番組内容の充実に努める。

問 創業支援事業補助金

の補助対象は。また要綱の見直しは。

答 商工会加入者が対象。今後は町内外の差別化、補助金の返還など要綱見直しを検討する。

屋内多目的広場

どのような活用を

想定しているのか

供用開始は12月からの

予定で、町では冬場や雨天時の活用はもちろん、フットサルのほか、保育

所の運動会や少年野球、高齢者スポーツ大会など各種多目的な用途での、いろいろな利用を考えている。

委員からも広く活用すべきとの意見があった。

その他の質疑・意見

問 金沢医科大学病院へ

の運営費の補助金1億円では今年度町が2千万円負担するが、今後

も助成は続くのか。

答 現段階で、未定。

問 介護保険特別会計の

地方支援事業費委託料の補正では、金沢医科大学病院に「認知症初期集中支援チーム」が設置される予定だが、どのようなチームなのか。

答 専門医と看護師、社会福祉士の3人体制を予定している。

福祉
保健
文教
常任
委員
会

問

「みんなが元気！健康いきいきプロジェクト」の事業内容はどのようなものか。

答

内灘元気づくり協議会の事業で、30歳以上の会員の方々を対象に活動量を配布し、計測したデータを各公民館や総合体育館・プール・保健センターに設置される専用リーダに読み込ませることで、自分のパソコンやスマートフォンから自身の健康管理のための情報が確認でき、「からだ見える化」による健康づくりをすすめる事業。

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

消雪装置(鶴ヶ丘・大学地区)を整備せよ

多くの児童生徒が通学する町道鶴ヶ丘東1号線、大学2丁目地区の急な坂道に消雪装置を早急に整備せよ。

平成24年9月議会

平成26年6月会議(※) 太田 臣宣

※平成26年から本会議の名称が「〇〇議会」から「〇〇会議」に変更となりました。

答 弁

整備が必要な路線と認識している

消雪整備路線を検討しており、その結果を踏まえて実施決定し早期完成を目指す。

その後

大学2丁目の消雪装置を整備せよ

大学2丁目の公園横の生活道路は、急勾配のため、雪が降ると除雪も追いつかず車も出にくい。消雪装置を整備せよ。

平成25年9月議会

中川 達

答 弁

整備方針と照らし合わせ実施する

消雪用井戸掘り替えによる揚水量の結果を踏まえ、散水路線の延長を検討する。

その後

平成27年度 整備を実施しました。

消雪装置が整備され、降雪時における交通の安全確保が図られました。



鶴ヶ丘地区



大学2丁目地区



議会を傍聴しませんか

次の定例会議は **12月**に開催されます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

傍聴の受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL286-6715

街かどインタビュー

「平和が一番ですね」

今回紹介する方は鶴ヶ丘の片岡登志雄さんです。



◆金沢から鶴ヶ丘へ移り住んでの印象は？

○昭和41年に移り住んだ頃の家の前は何もなくて白山がきれいに見えました。金沢までの通勤が最初は大変でした。

◆学生の頃は戦争中で大変だったと思います。お話ししていただけますか。

○学校には兵器庫や実弾射撃場がありました。学校は軍隊の延長と位置付けられ、軍からは現役将校が配属されていました。18歳の時兵隊に志願し生きては帰れないと思っていました。

◆とても姿勢がよいのです。が秘訣は。

○学生時代は柔道をしてい

ました。趣味がグライダーで若い頃は内灘の浜へよく来ました。内灘に来て初めて弓道に出会い、昭和52年に弓道場が完成して2年後に弓道協会に入会しました。

◆若い人たちへのメッセージはありますか。

○平和が一番ですね。命を大切にしてほしいです。

◆議会にひと言お願いします。

○働いているときからよく



良い姿勢の秘訣は弓道

◆ありがとうございました。

インタビュー 北川 悦子

編集後記

新入議員3人が「うちなだ議会だより」の編集に携わるようになって今回で7号目。ようやく作業に慣れつつあります。編集作業は、まず議会最終日に広報委員で打ち合わせを行なうことから始まります。

そこで作業日程や構成案、ページ担当を決め、インタビューや掲載する写真の撮影も行ない、発行までに5、6回の委員会を開催します。

一人でも多くの方に見て読んでいただける議会だよりを目指し、更に研鑽してまいります。

〔七田 満男〕

広報対策特別委員会

委員長	藤井 良信
副委員長	磯貝 幸博
委員	米田 一香
委員	七田 満男
委員	北川 悦子